

東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所主催フィールド言語学ワークショップ

第18回文法研究ワークショップ

「音節構造の諸問題」

開催のお知らせ・募集要項

音節は様々な言語現象において重要な役割を果たす音声・音韻的単位であることが知られています。例えば、音節はアクセントなど超分節素の付与される単位として、また重複など形態論的操作の標的として機能します。一方で、音節がどのような現象においてどのような役割を果たすかについては、言語間で差異が認められます。本ワークショップでは、記述言語学を研究する若手研究者が中心となり、様々な言語の音節をめぐる問題について議論を行います。これにより、各言語の音節の内部構造や特徴的な要素について理解を深めます。また、各言語のどのようなタイプの音韻・文法現象において音節が役割を果たすかについて議論します。

上記のテーマにご関心をお持ちの方のご参加をお待ちしております。

記

1. 開催日時：2020年10月17日（土）10:00～13:00 および2020年10月18日（日）10:00～13:00
2. 開催場所：ZOOM 会議室（開始1時間前までに参加者に通知します）
3. プログラム：**2020年10月17日（土）**
  - 09:45 開室
  - 10:00-10:10  
倉部慶太（AA研）  
「趣旨説明」
  - 10:10-11:00  
中本舜（メキシコ国立自治大学大学院）  
「マサテク語アヤウトラ方言の前鼻音化子音とオンセットの内部構造」
  - 11:10-12:00  
山岡翔（京都大学大学院）  
「ベトナム語ハノイ方言の音節構造について—一介音の位置づけを基に—」
  - 12:00-12:50  
平野綾香（大阪大学大学院）  
「ヌン語ランソン省チャンディン県方言の音節内部構造」**2020年10月18日（日）**
  - 09:45 開室
  - 10:00-10:50  
加藤幹治（東京外国語大学大学院）  
「奄美語徳之島方言の音節：アクセントと喉頭化子音の観点から」
  - 10:50-11:40  
高城隆一（東京大学大学院）  
「鹿児島県大隅半島内之浦方言の音節構造」
  - 11:50-12:40

清水美里（大阪大学大学院）

「ビルマ語ヨー方言の音節構造」

12:40-13:00

参加者全員

「まとめと全体討論」

4. 参加資格：上記のテーマに関心のある研究者・学生

※ 大学院生以上を原則とします。それ以外の方についてはメールでご相談ください。

5. 定員：20名程度

6. 参加申込方法：下記 URL にアクセスして、専用フォームからお申し込みください。折り返し自動返信メールが届きますので、ご確認ください。

なお、右記 QR コードからでも同じページにアクセスできます。

<https://lingdy.aa-ken.jp/activities/training-ws/201017-flws-gram/>



7. 申込締切：10月16日（金）正午（ただし定員に達し次第締め切ります）

8. 問い合わせ先：

「多言語・多文化共生に向けた循環型の言語研究体制の構築（LingDy3）」事務局

info-lingdy[at]aacore.net（[at]を@に変えて送信ください）

9. その他：

・ワークショップは日本語でおこないます。

・参加は無料です。

※ご不明な点がございましたら、上記「8. 問い合わせ先」までご連絡ください。

※文法研究ワークショップは、記述言語学を志す学生や研究者が最新の研究成果や調査データを紹介しあうことにより、学生・研究者の交流や、情報共有を行なうことを目的としたワークショップです。過去のワークショップにつきましては、以下をご覧ください。

<http://www.aa.tufs.ac.jp/ja/training/fieldling-ws/grammar-wr-ws>

主催：東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所基幹研究「多言語・多文化共生に向けた循環型の言語研究体制の構築（LingDy3）」

以上